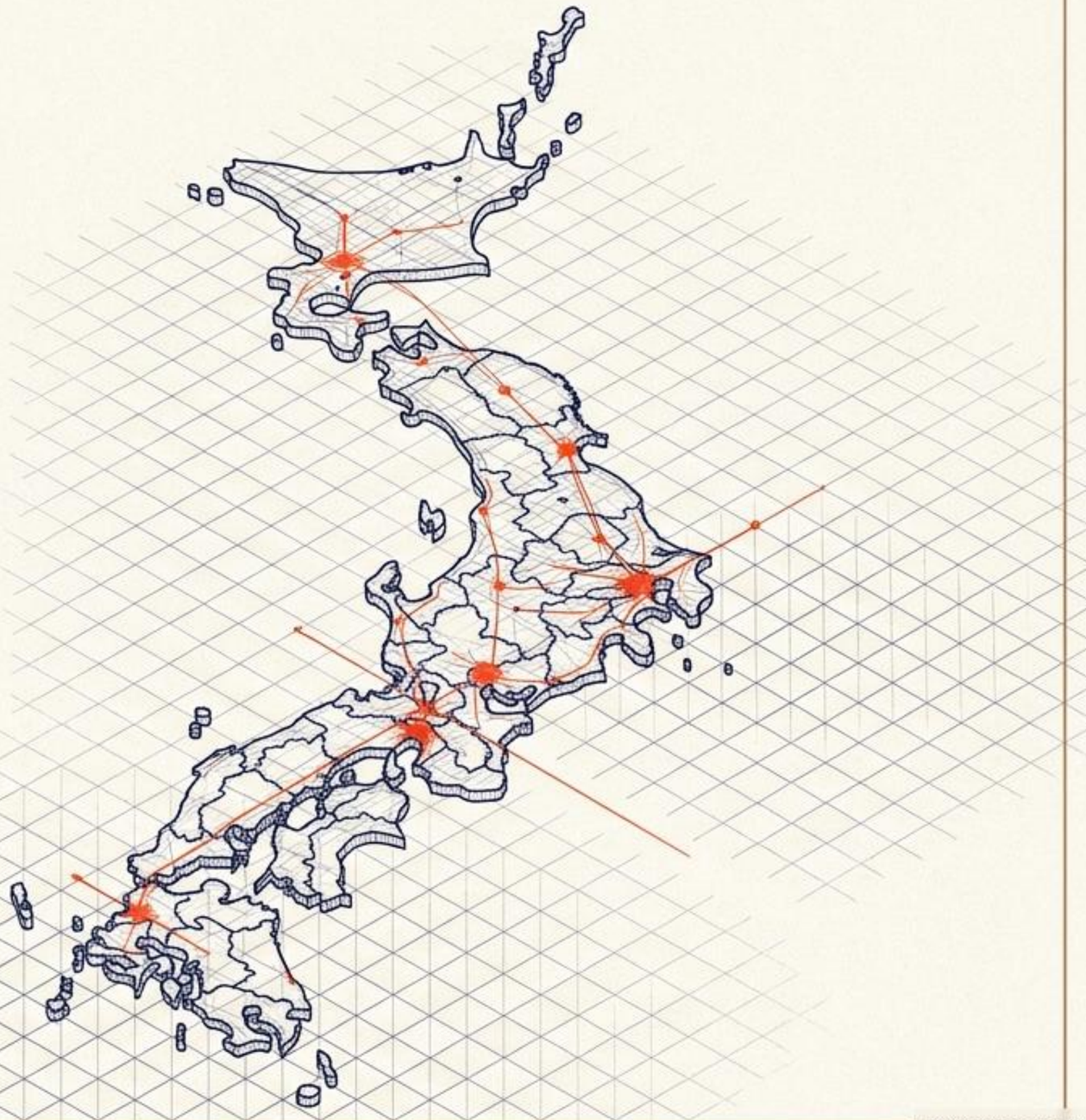
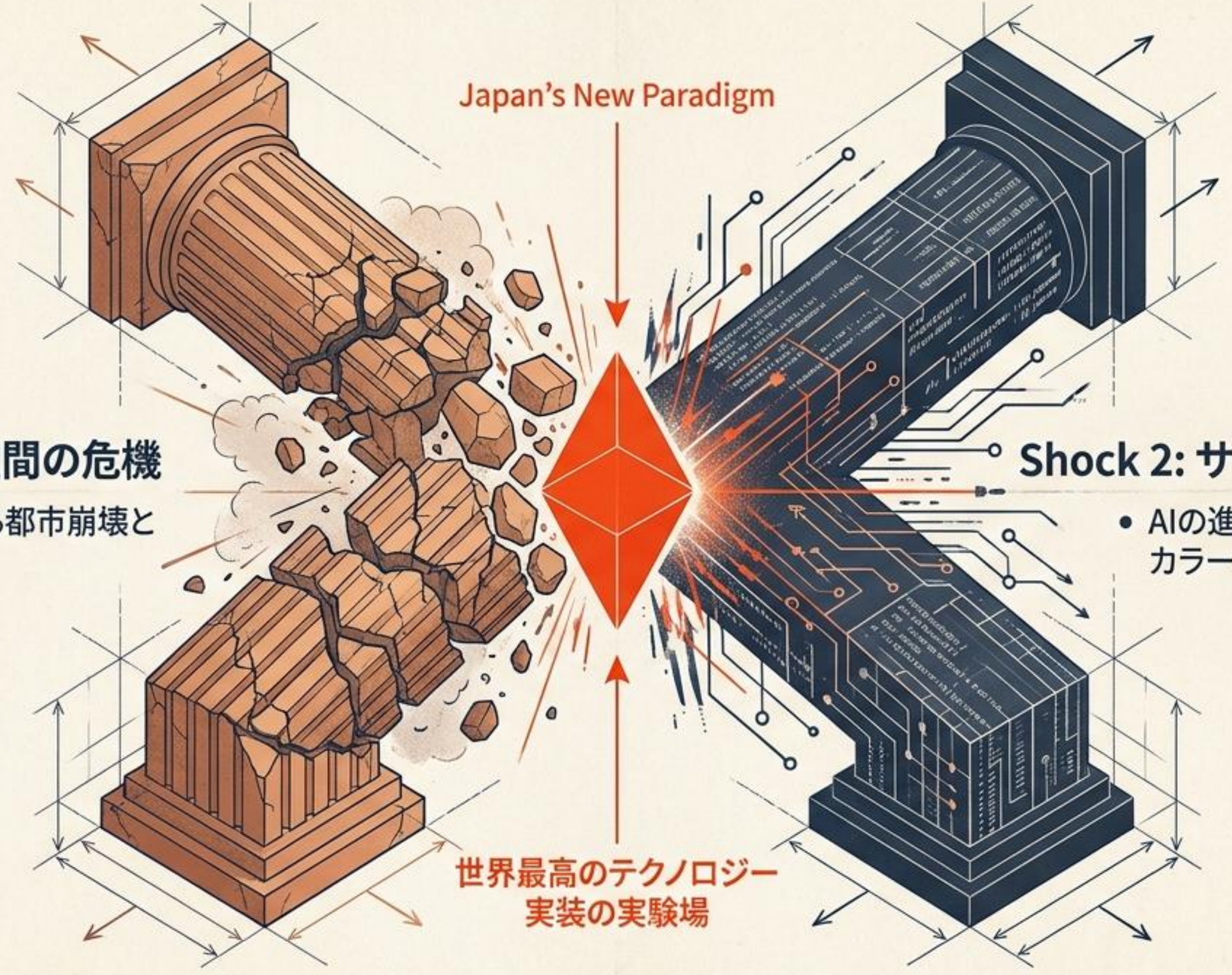
2034年の設計図

AIと超・人口減少が創り出す「新しい日本経済」

3人の先駆者（冨山和彦・中島聡・森知也）の
視点から紐解く、10年後の国家と個人の生存戦略



NotebookLM



Shock 1: 物理空間の危機

- 超・人口減少による都市崩壊と労働力の枯渇

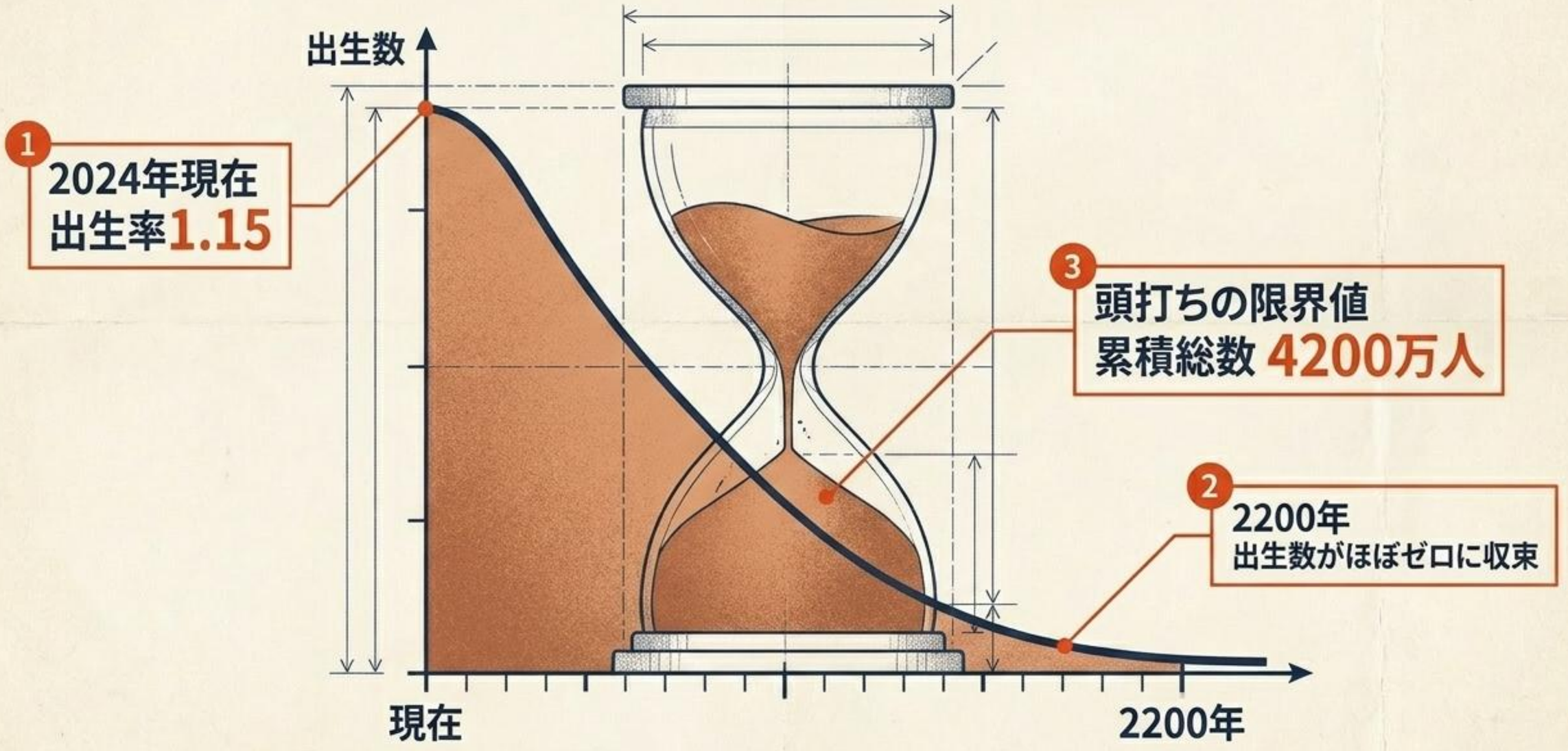
Shock 2: サイバー空間の危機

- AIの進化による定型ホワイトカラー業務80%の消滅

16:9

NotebookLM

人口のカウントダウン：残された未来は「4200万人」



16:9

NotebookLM

東京というブラックホールと「限界大都市」の誕生

就職時の移動限界

18~24歳の就職タイミングで
若者は東京へ吸い込まれ、

地方小都市の崩壊

多様性が閾値を下回り、
下層の都市から順に消滅へ。

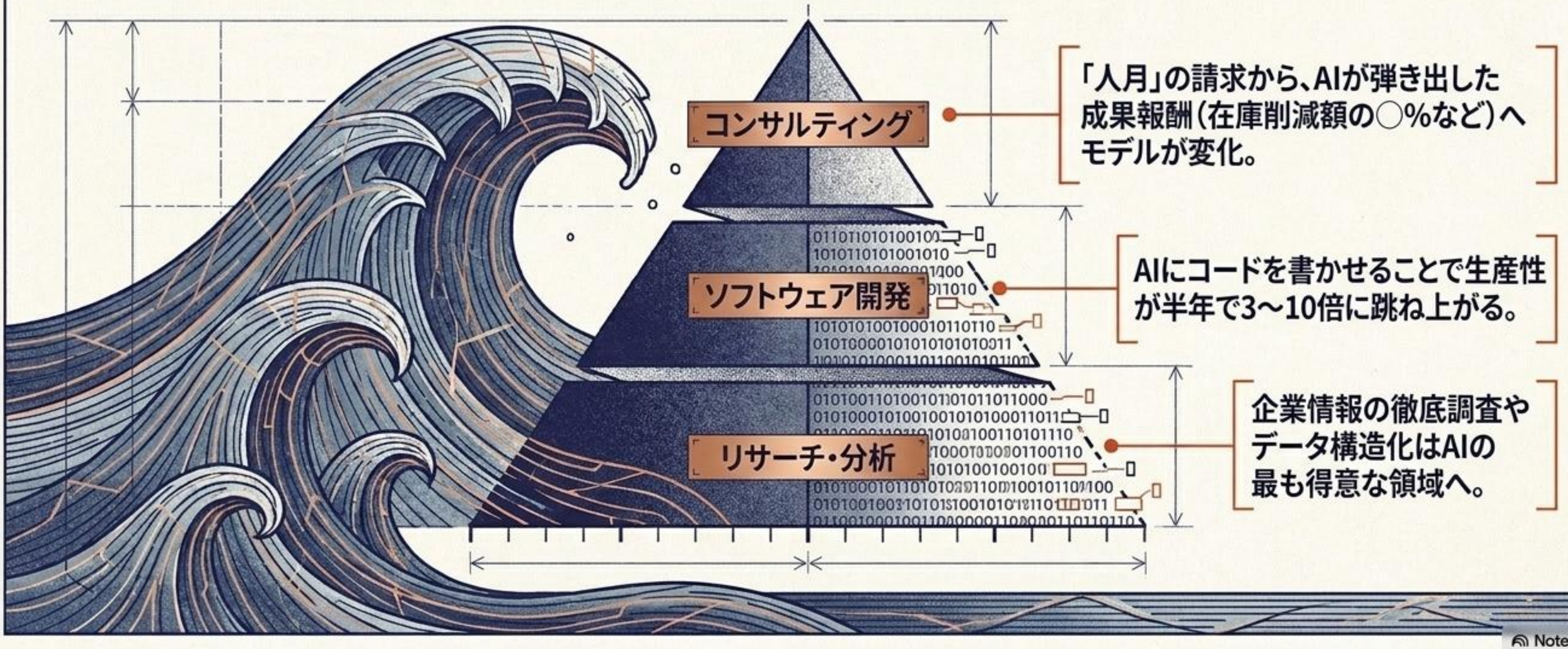
ゆっくり老衰する大都市

大阪や名古屋も社会増（転入）
はゼロ。巨大なインフラを抱え
たまま縮小フェーズへ。

NotebookLM

AIの大津波：「ホワイトカラー」の終焉

PCの前に座る定型業務の80%は、AIに代替される時代が到来した。



「人月」の請求から、AIが弾き出した成果報酬（在庫削減額の◯%など）へモデルが変化。

AIにコードを書かせることで生産性が半年で3〜10倍に跳ね上がる。

企業情報の徹底調査やデータ構造化はAIの最も得意な領域へ。

NotebookLM

The Japan Paradox：最悪の危機が創り出す「特殊な優位性」

絶望的なブルーカラーの人手不足が先行する日本では、
AIやロボティクスを導入しても「失業暴動」が起きず歓迎される。
世界で最も摩擦なく革命を進められる完璧な実験場となる。

NotebookLM

価値の「スマイルカーブ化」：中途半端な知識は滅びる

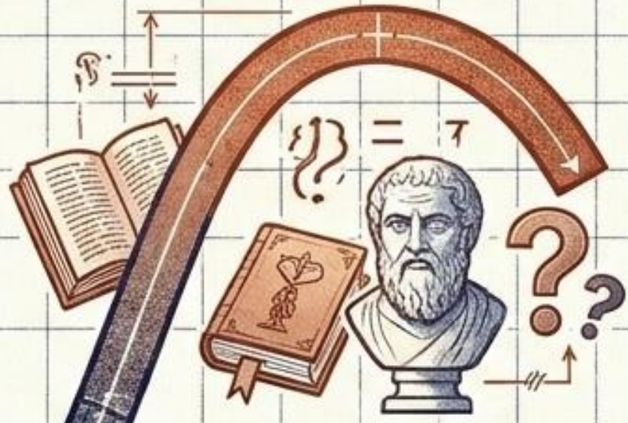
AI時代における生存価値・希少性

自然科学 / 物理世界

実験とリアルデータに基づく学問、工学、フィジカルな現場。

旧来の社会科学・定型業務

二次情報の解析に過ぎない経済学等はAIのデータ処理能力に飲み込まれる。



真の人文学 / リベラルアーツ

深い人間理解、極限の死生観、正解のない問いを立てる領域。

NotebookLM

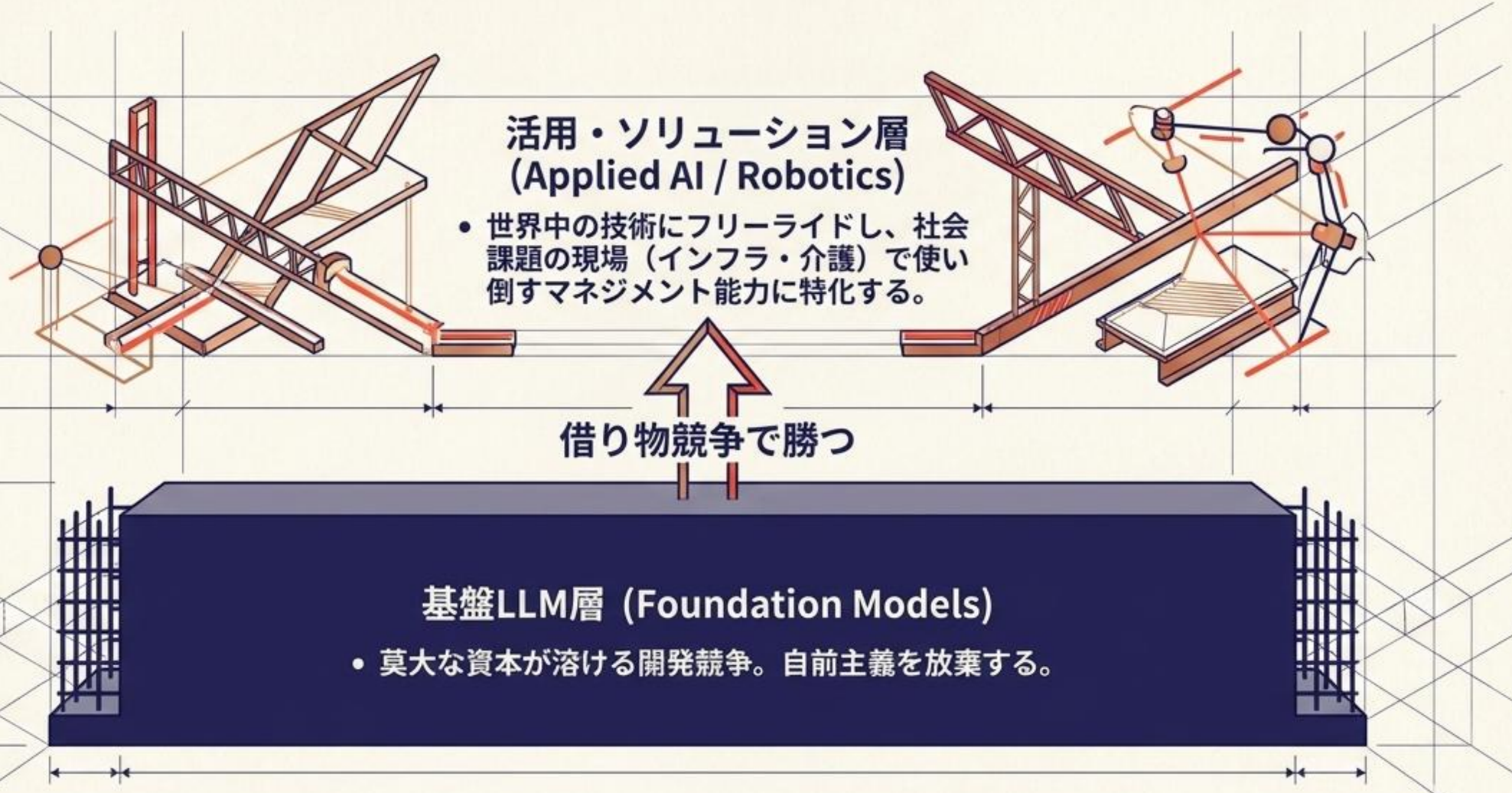
新中間層の台頭：「アドバンスド・エッセンシャルワーカー」

旧パラダイム：
現場仕事（医療、インフラ、物流）は3Kで低賃金とされてきた。

2034年の主役：
フィジカルAIやロボティクスを現場で使い倒すことで、圧倒的な生産性と高賃金を実現。日本の「すり合わせ技術」が最大限に活きる最大の領域となる。

NotebookLM

技術戦略：グローバル・イノベーションへの「タダ乗り」



活用・ソリューション層 (Applied AI / Robotics)

- 世界中の技術にフリーライドし、社会課題の現場（インフラ・介護）で使い倒すマネジメント能力に特化する。

借り物競争で勝つ

基盤LLM層 (Foundation Models)

- 莫大な資本が溶ける開発競争。自前主義を放棄する。

NotebookLM

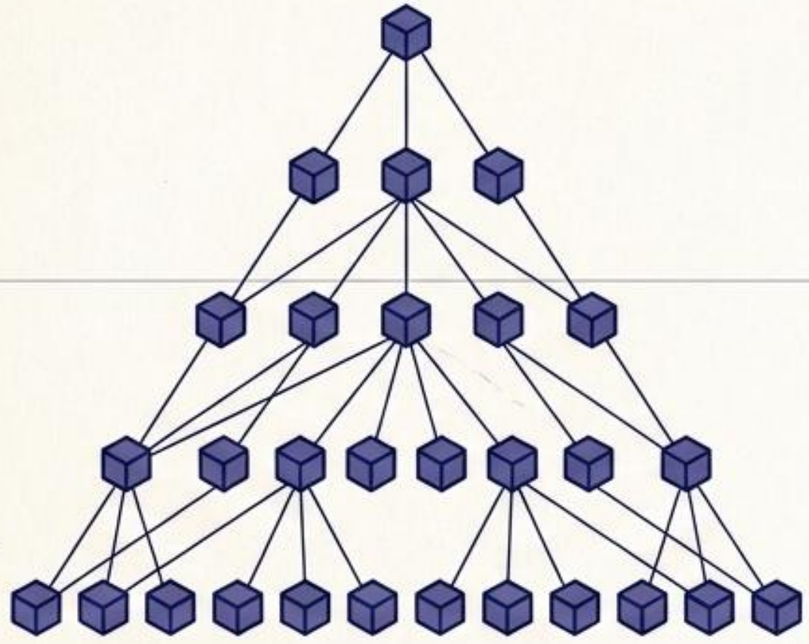
Paradigm Shift: 20世紀の成功モデル vs 2034年の新常識

DIMENSIONS	20世紀の旧パラダイム	2034年の新パラダイム
戦う場所	都会の大企業サラリーマン	ローカルの小規模事業リーダー
価値の源泉	時間を売る （人月計算・定型業務）	成果を売る （AI活用による圧倒的生産性）
教育の軸	偏差値・記憶力 （構築知識）	実学（職業訓練）＋ 真のリベラルアーツ
最強の武器	資格・過去の経験則・同調性	好奇心・目的意識・ AIへのプロンプト力

NotebookLM

1億「総ボス」時代：無限の知性を月額20ドルで雇う

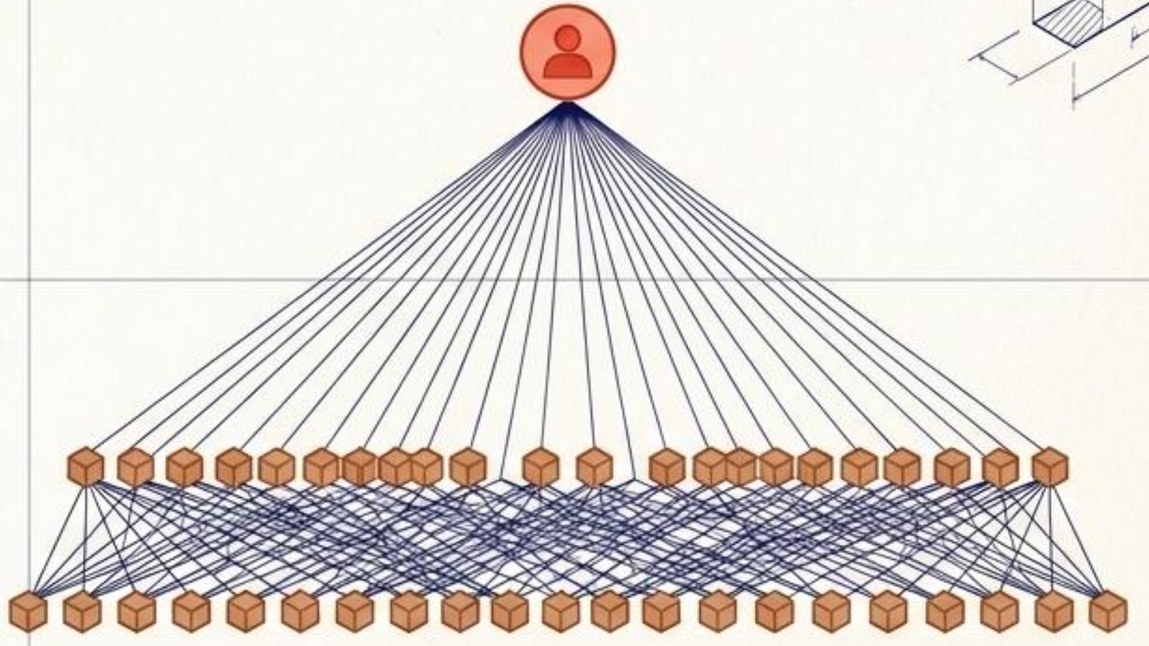
旧・ピラミッド型組織



特権層である大企業の役員クラスしか、
優秀なスタッフによる情報収集と分析を
持てなかった。

Before & After

新・フラット拡張組織

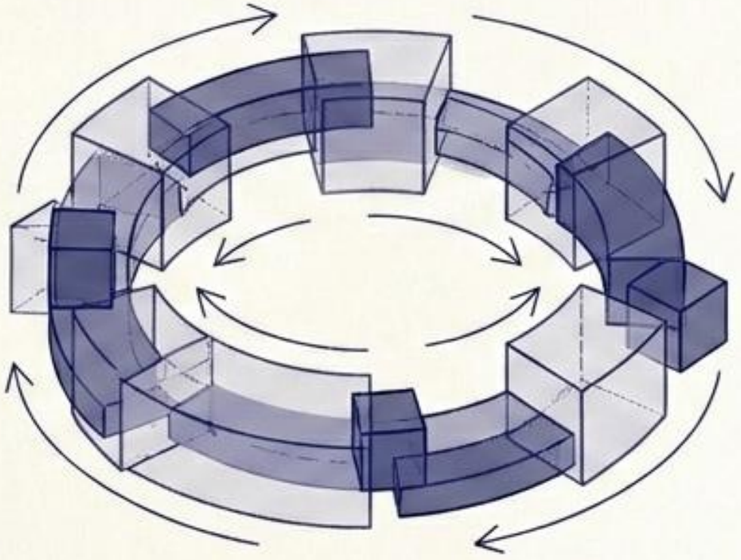


誰もが月額数十ドルで無限の優秀な部下（AI）を所有。
問われるのは計算の速さではなく「目的の設定」と
「的確なプロンプト（指示）を出す力」。

NotebookLM

都会のサラリーマンより「ローカルリーダー」たる理由

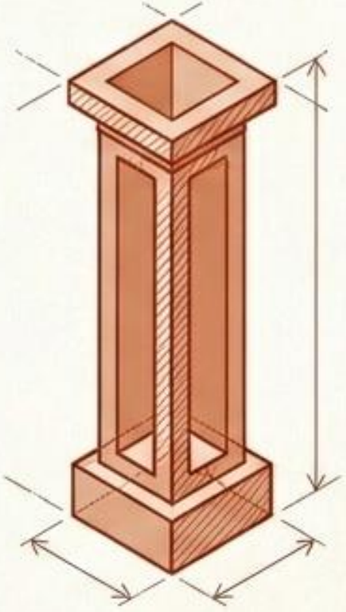
都会のホワイトカラー空間



【多責の罠】

みんなで意思決定を行うため失敗しても
誰かのせいにできる。
この環境では真の人間力は成熟しない。

ローカルビジネス空間

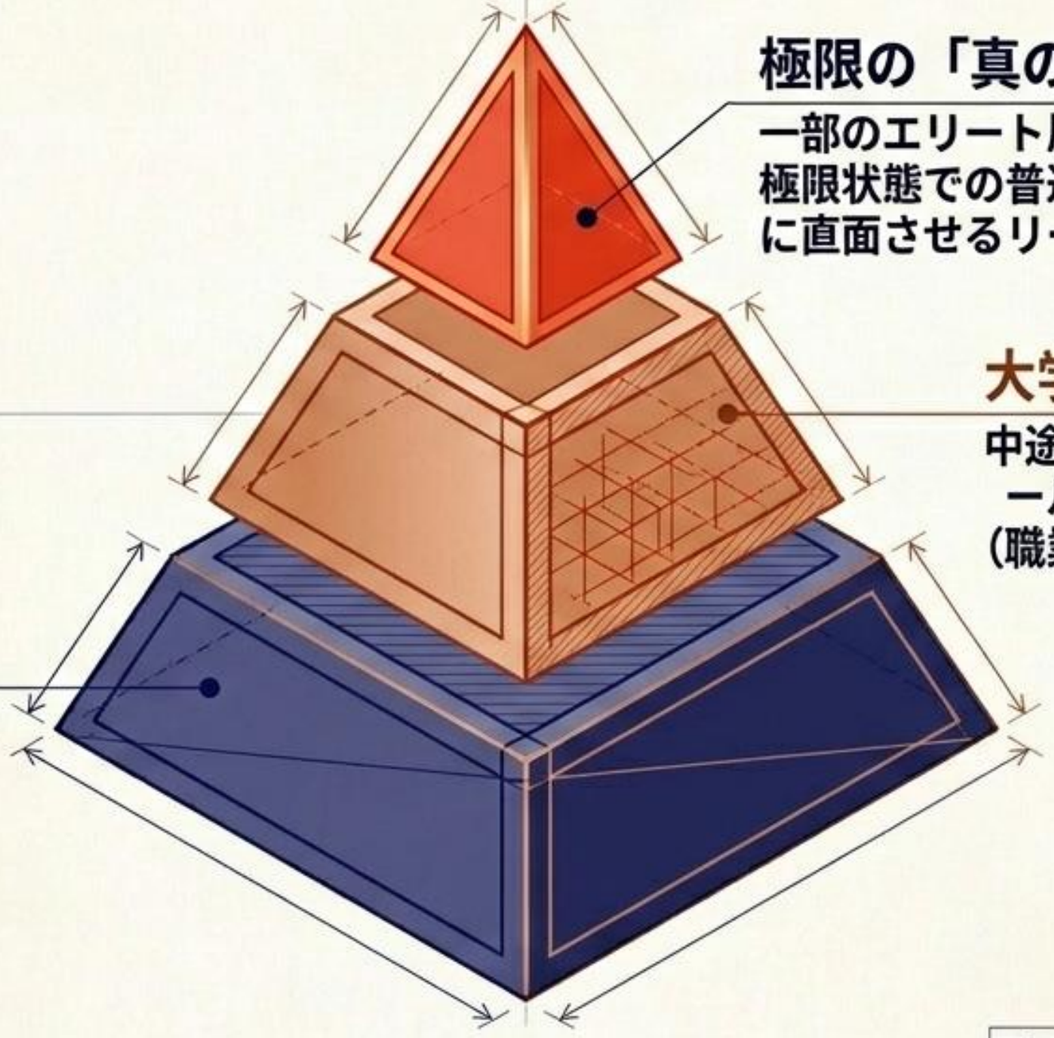


【自責の覚悟】

逃げ道がなく1人で決着をつける経験が強制される。
すべてを背負う修羅場こそが、大胆な意思決定力と
AIに代替されない胆力を育む。

NotebookLM

教育の再定義：AI時代に何を学ぶべきか？



極限の「真のリベラルアーツ」

一部のエリート層に向けた、死生観や極限状態での普遍的な人間への問いに直面させるリーダー教育。

大学の9割は実学・L型へ

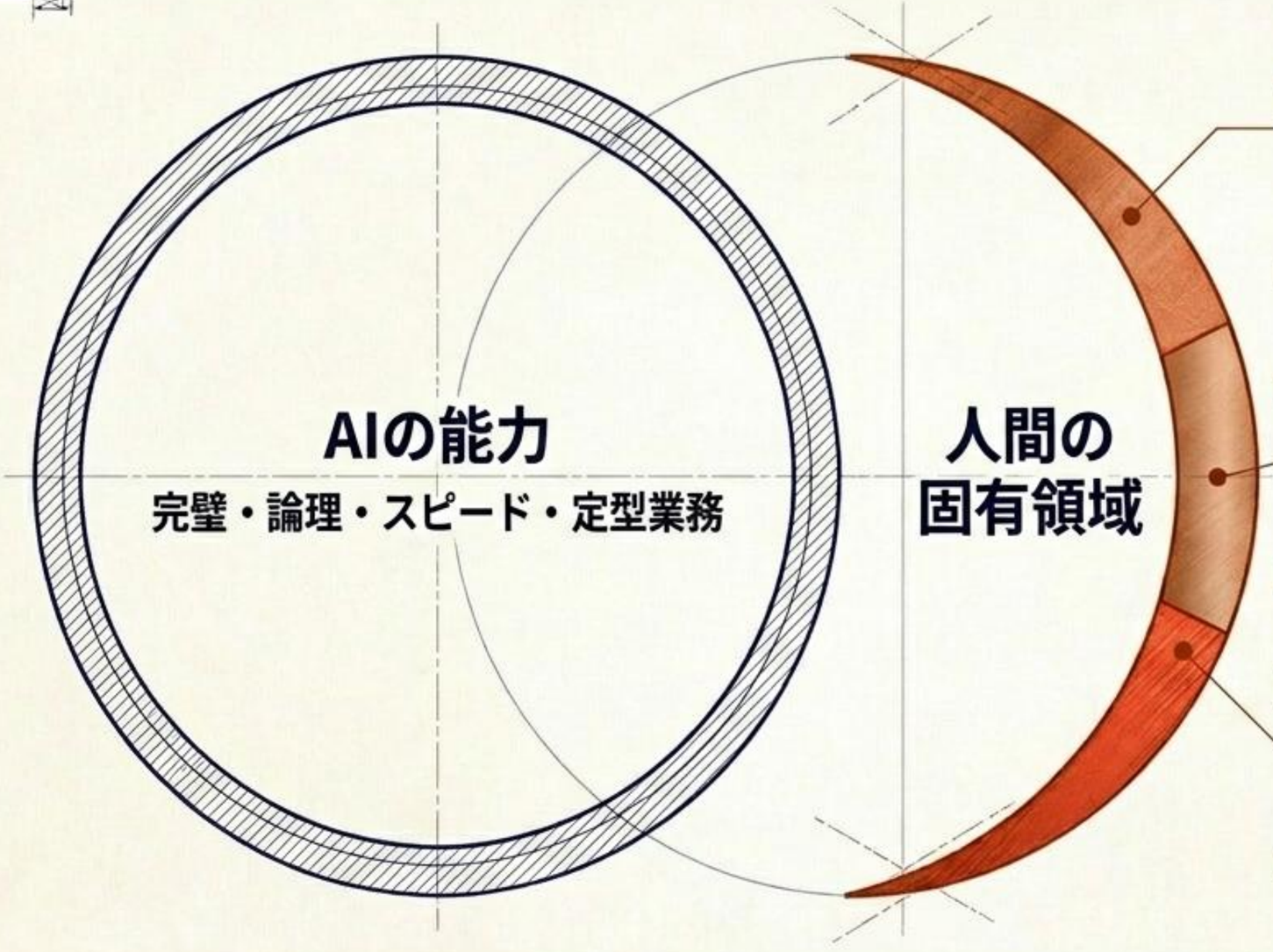
中途半端な文系大学を廃止。AIツールを使いこなす実践的な技能（職業訓練）を身につける場へ。

初等・中等教育の徹底

感情・道徳を排除し、徹底的な「論理国語」と数理言語の基礎を固める。

NotebookLM

20%の生存者：AI時代に選ばれる「人間」の条件



「味」と「信頼」

非合理な信頼や、その人ならではの固有の文脈。

正解のない問いを立てる

定型業務を捨て、自発的な欲求を生み出す力。

前向きな好奇心

恐れて規制を叫ぶのではなく、新しいツールをいじり倒す姿勢。

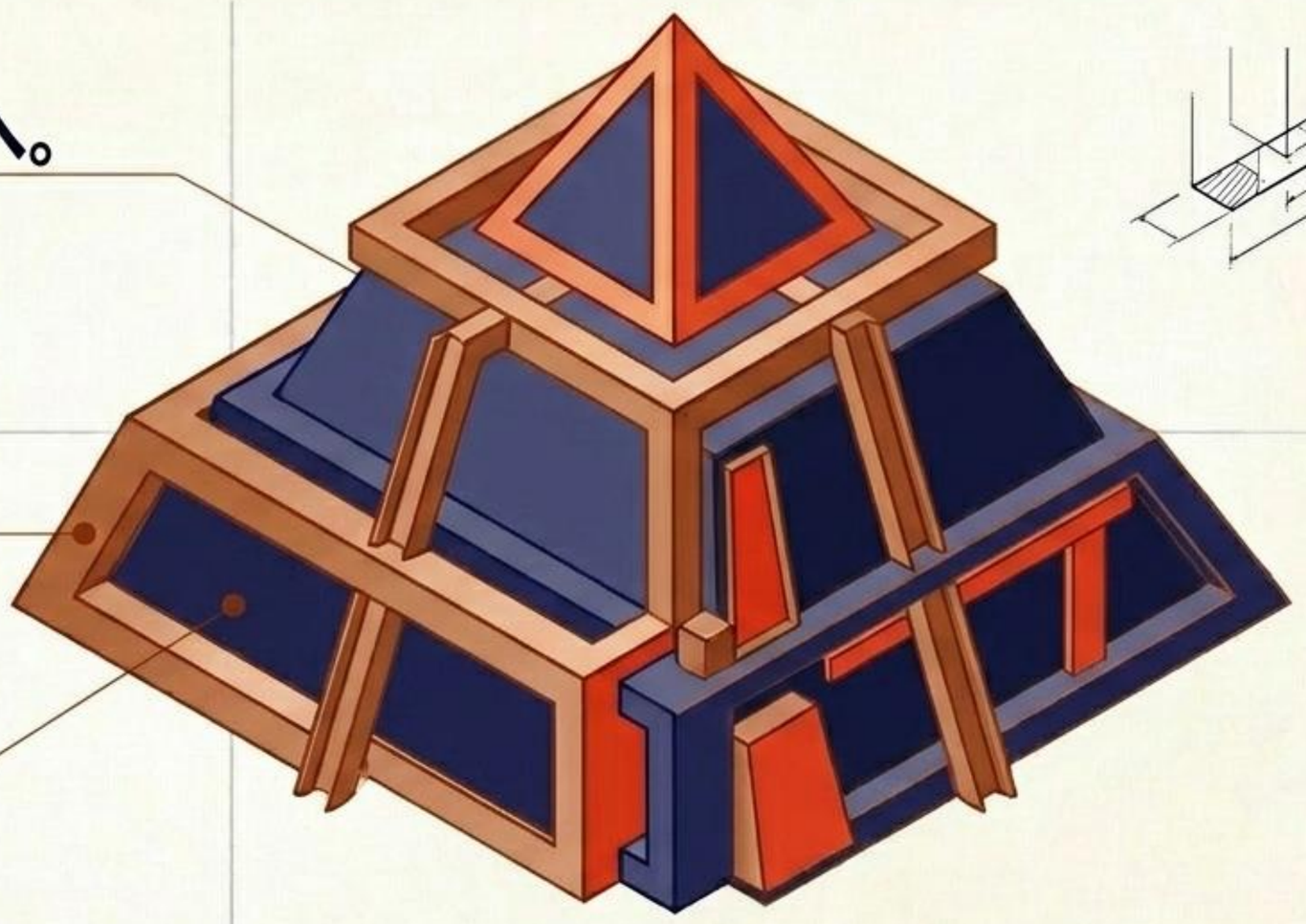
NotebookLM

The Paradigm Flip：革命期は、常に常識が反転する

グローバルよりも、ローカルへ。

サイバー空間から、
身体性を伴うリアルへ。

大企業の「多責」から、
小規模組織での「自責」へ。



古い常識が完全に破壊されるこの不可逆な波に乗る者にとって、2034年は最も面白く、チャンスに満ちた時代となる。

NotebookLM